

Elazzio

SEAT COVER



DAIHATSU

TAFT

専用シートカバー取付説明書

6540/6541/6542/6543

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

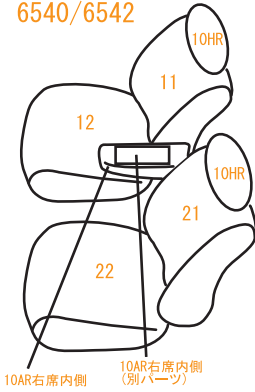
※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

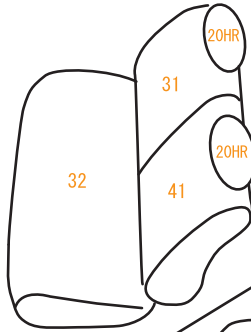
- シートカバー装着前の注意事項 …> 3P～4P
 - 1 列目運転席座面の装着方法 …> 5P～8P
 - 1 列目助手席座面の装着方法 …> 9P
- 1 列目運転席背もたれの装着方法 …> 10P～11P
 - 2 列目座面の装着方法 …> 12P～14P
- 2 列目運転席背もたれの装着方法 …> 15P～16P
 - 2 列目座面の戻し方 …> 17P
- 1 列目ヘッドレストの装着方法 …> 18P
- 2 列目ヘッドレストの装着方法 …> 19P
- 1 列目アームレストの装着方法 …> 20P～22P
- シートカバー装着完成図 …> 23P
- ひもの結び方 …> 24P
- アフターサービスと生地別メンテナンス方法 …> 25P～26P

本製品シート形状とパーツの名称

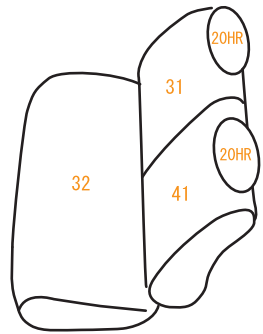
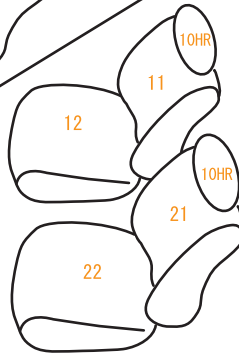
6540/6542



10AR右席内側
(別パーツ)



6541/6543



取付必要工具



1



2



3



4



5

- 1 ソケットレンチ (14mm)
- 2 エクステンションバー ※10cm以上
- 3 プラスドライバー
- 4 ハサミ
- 5 クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1 1 列目座面の装着方法



- 1 始めに、シートリフターを使用し、シートを一番高い位置に調整します。



- 2 シートリフターレバーをシートから外します。シートリフターレバー側面のフタを、ヘラなどを使用し外します。



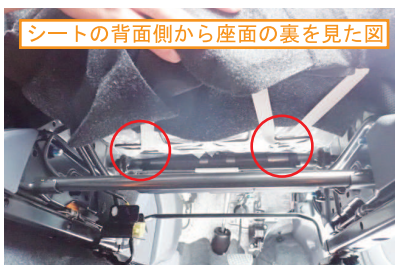
- 3 ドライバーを使用し、フタの内側にあるネジを外すとシートリフターレバーがシートから外せます。



シートの前面側から座面の裏を見た図

座面裏のブラックを外す

- 4 シートの背面下から座面裏を覆っている純正シート表皮固定用のブラックを外します。シートの前面側から座面の裏を確認し図の赤丸部分にあるブラックを外します。



シートの背面側から座面の裏を見た図

- 5 ブラックを外すと、座面裏に固定用のゴム(図の赤丸部分)が見えます。ゴムは金属のフレームに引っ掛けて固定されています。そのゴムを金属のフレームから外します。



シートの背面側から座面の下を見た図

- 6 純正シート表皮固定用の固定部材を全て外し、シート表皮を座面の後ろ側に引っ張り出します。



- 7** 純正シート表皮を引っ張ると、図のようになります。シートヒーターやエアバッグの配線が通っているため、完全に生地を引っ張り出すことはできません。作業は慎重に行ってください。



純正シート表皮をめくる

ファスナーを開く

- 8** 背もたれ側面の純正シート表皮のファスナーを開きます。図のように純正シート表皮をめくると、純正ファスナーのライダーが見えるので、ファスナーを上まで開きます。



- 9** 純正シート表皮のファスナーを開き、表皮をめくると、図のようにシートの内側が見える状態になります。この状態からシートカバーの装着を行っていきます。



- 10** ①シートの前側からカバーをシート全体にかぶせます。
②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい角度で作業を行ってください。

内側面にプラスチックカバーの無い場合



- 11** カバー内側面の加工穴からシートベルトバックルを取り出します。内側面にプラスチックカバーの有る場合、この作業は行いません。



- 12** 10番で入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



- 13** 12番で引き出した生地裏にマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 16** 図のリクライニングレバーのネジをドライバーを使用して緩めます。ヘラなどを使い、リクライニングレバー周囲の生地を隙間に入れ込みます。生地を挟み込んだ状態で、緩めたネジを締めなおします。



- 14** カバー外側面に付いているマジックテープをシートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。マジックテープ前後の生地も一緒に入れ込んでください。



- 17** 外側面の下側にある固定部材をプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。

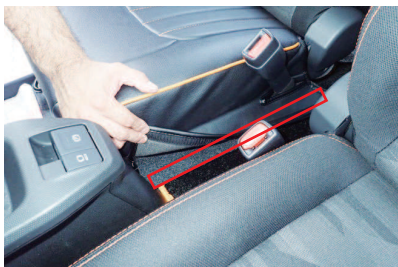


- 15** 14番で入れ込んだマジックテープを、シート裏の隙間から引き出します。マジックテープのベルトはシート裏の金属部分に巻き付けて、マジックテープ先端のオス部分をメス部分に貼り付けて固定します。



- 18** 3番で外した、シートリフターレバーを元に戻します。シートリフターを動かし、シートリフターの動作を確認してください

内側面にプラスチックカバーの無い場合



- 19** カバーの内側面の下に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。

内側面にプラスチックカバーがある場合



- 20** カバーの内側面の下にある固定部材をプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。カバーの端にあるゴムに付属の金属フックを取り付け、座面下部の適当な箇所につけて固定します。



- 21** 13番で固定した生地先端に付いているベルトを、座面裏から前側へ通します。



- 22** ベルトを通す際に、金属部（図の赤丸部分）の上を通すようにします。ベルトは、カバー前側に付いているバックルに固定します。



- 23** ベルトの固定方法は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締められ固定されます。ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 24** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。
※4番、5番で外したブラックとゴムは、背もたれカバーを装着後元に戻します。

Step 2

1 列目助手席座面の装着方法

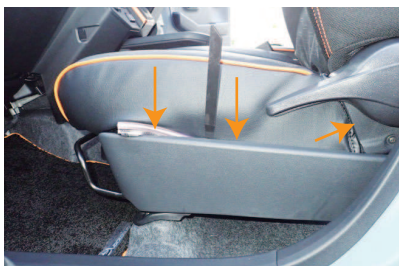
※助手席座面は基本的に運転席座面の取り付け方法と同じですが、助手席側にシートリフターが無い場合、カバーの固定方法が一部異なります。



- 1** 始めに、助手席シートアンダートレイを外します。
運転席と同様に、カバーをかぶせます。



- 4** 内側面にプラスチックカバーが無い車両の場合は、カバーの内側面の下に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。



- 2** カバーの外側面に付いている固定部材を、ヘラなどを使い、プラスチックカバーの隙間に入れ込みます。
リクライニングレバー周囲の生地もプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



- 5** 運転席と同様にベルトを固定します。ベルトは金属部の上に通します。



- 3** 生産年式によって、内側面にプラスチックカバーの有る車両と無い車両があります。
内側面にプラスチックカバーがある車両の場合は、カバーの内側面の下に付いている固定部材をプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。(3カ所)
プラスチックカバーの無い車両の場合は、**4番**を参照してください。



- 6** シートアンダートレイを元に戻し、カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。

Step 3

1 列目運転席背もたれの装着方法

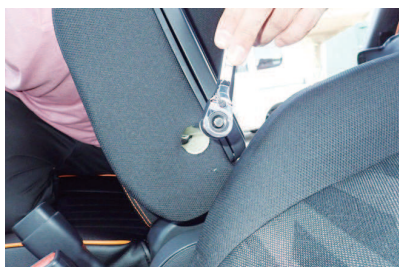
アームレスト未装備車の場合は3番の説明からご確認ください。



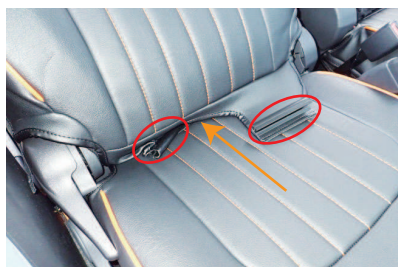
- 1 始めにアームレストを外します。ヘラなどを使用して図のキャップを外します。



- 4 ヘッドレストの台座を取り出します。台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込み、生地の伸びを利用して台座を取り出します。



- 2 ソケットレンチなどを使用してアームレストを固定しているボルトを外します。ソケットは14mmを使用します。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地の端には大きなフックが付いているので、フックの角で生地を傷つけないようご注意ください。



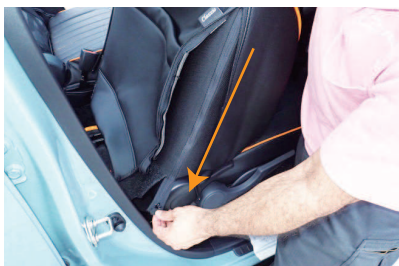
- 3 カバー両側面のファスナーを開いて、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 6 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。
※座面裏からシートの中央あたりに配線が通っています。配線部分に注意して、生地を引き出してください。



- 7** 引き出した生地についているフックを、図のようにシート背面裏の純正生地のブラフックの上に引っ掛けて固定します。
※背面の純正シート表皮に配線が通っているため、引っ張りすぎないように、ご注意ください。



- 8** 6ページ8番で外した純正表皮のファスナーを元に戻します。



- 9** カバー両側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



マジックテープをシートに直接固定します

- 10** カバー背面下部の生地裏に付いている2本のマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。



- 11** 5ページ4番、5番で外したブラフックとゴムを元に戻します。



- 12** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 4

2列目座面の装着方法



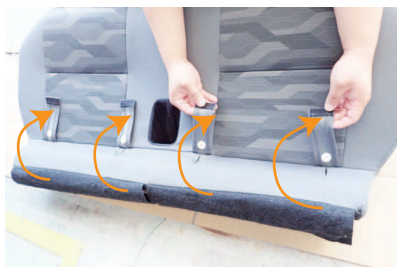
- 1** 始めに背もたれを倒し、荷室側の生地を、図のようにマジックテープを外してめくり上げます。



- 2** シートを車体から外します。図の丸印の位置（シート裏）にフックがあることを確認してください。フック付近のシートのフチを両手で持ち、そのまま真上に引き上げることでフックの固定が外れます。



- 3** シートの付け根もフックで固定されています。
①シートを一旦奥に押し込みます。
②手前にすくいあげるようにして外します。これでシートが車体から外れます。



- 4** シートを車外の取り付けができる場所に運びます。図のようにチャイルドシート固定用フックの目隠しを開きます。
※シートを車外へ運び出す際は車に傷を付けないようご注意ください。



- 5** カバーの裏側に付いているベルトをチャイルドシート固定用フックの穴（4箇所）に通します。



- 6** 5番で通したベルトをシートの後ろ側から引っ張り出します。



- 7** 1番で外した生地を、図のように矢印方向に丸めてください。



- 10** シートの付け根部分に生地を馴染ませるようにしてカバーをかぶせます。



- 8** 生地を丸めると図のようになります。座面の固定フックと干渉していないかを確認してください。



- 11** シート付け根の中央部分にマジックテープが付いています。マジックテープをシートに直接貼り付け固定します。



- 9** 8番で丸めた生地の上からカバーをかぶせます。シート付け根のフック部分にカバーの加工穴を通します。



- 12** 6番で通したベルトをカバーの加工穴から取り出します。



- 13** ベルトは合計4箇所になります。



- 16** ひもを固定してから、シート背面のベルトを固定します。
※ベルトの固定方法は8ページ23番を参考にしてください。



- 14** シートのラインに合わせてながら、シートの前側にカバーをかぶせます。



- 17** シート中央のシートベルトバックル収納部に生地を馴染ませます。

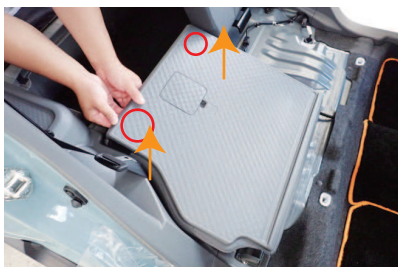


- 15** シートを裏返して、カバー両側面のひもを固定します。
※詳しくは24ページのひもの結び方を参考にしてください。

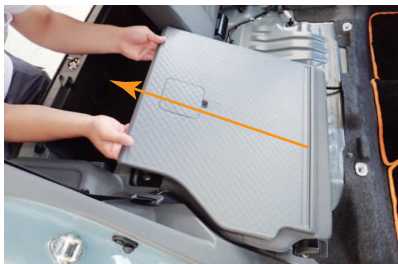


- 18** カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。
シートは2列目背もたれにカバーを装着後、元に戻します。
2列目座面の戻し方は17ページを確認してください。

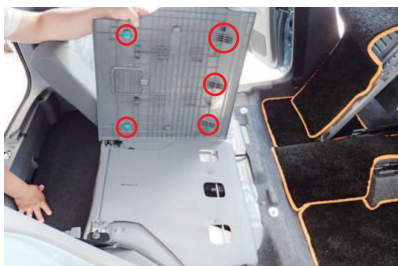
Step 5 2列目運転席側背もたれの装着方法



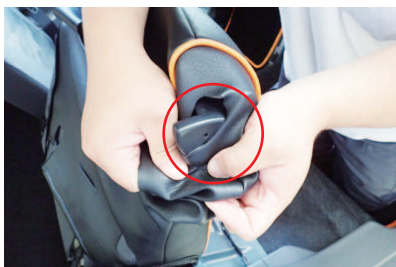
- 1** 始めに、2列目背もたれのバックボードを外します。
このバックボードはピンとフックで固定されています。先にピンを外します。図の赤丸部分の裏に手を入れて、ボードを垂直方向に持ち上げます。
※3番の説明も併せて確認してください。



- 2** 両側のピンを外して、ボードを矢印方向にスライドさせます。



- 3** ボードを外した図になります。
※図の赤丸部分の固定部材が変形しやすいため、ボードを外す（戻す）時は先に穴の場所を確認し、慎重に作業を行ってください。



- 4** カバー側面のファスナーを開き、シートの外側からかぶせませす。
シート外側のレバーを、カバー肩口の加工穴から取り出します。



- 5** このレバーは角が多い形状のため、図のように角を1箇所ずつ慎重に取り出してください。



- 6** カバーをシート全体にかぶせませす。
背もたれの下の隙間に生地を入れ込みませす。



7 6番で入れ込んだ生地を引き出します。



10 7番引き出した生地と、背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



8 生地を内に寄せながら、カバー内側面のファスナーを閉じます。ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



11 シート背面のチャイルドシート固定用フックとカバーの穴位置が合っていることを確認してください。ずれている場合はカバーを馴染ませ直して穴位置を合わせてください。ずれていない場合は、バックボードを元に戻します。



9 カバーの加工穴から、ヘッドレストの台座を取り出します。



12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 6

2列目座面の戻し方



- 1** 2列目座面を戻します。
先にシートの表からシートベルトバックルが出てきていることを確認します。バックルが取り出しづらい場合はシートベルトをバックルに差込み、穴からシートベルトバックルを取り出します。



- 2** シート裏のフックの位置を合わせて、シートを真上から押し込みます。フックをはめ込み車体にシートを固定します。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 4** 入れ込んだ生地を荷室側から引き出します。



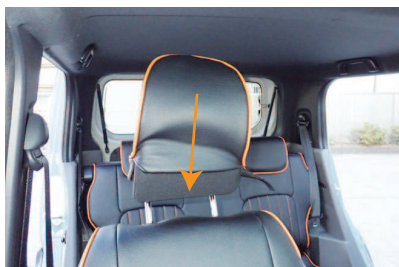
- 5** ラゲッジスペースのボードを外します。引き出した生地をマジックテープで車体側に直接貼り付けて固定します。



- 6** ラゲッジスペースのボードを戻します。2列目の完成です。

Step 7

1 列目ヘッドレストの装着方法



- 1** ヘッドレストにカバーをかぶせます。平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



- 2** ヘッドレストの形状に沿って、カバーをかぶせていきます。



- 3** ヘッドレストをシートから取り外し、カバーの左右に付いているマジックテープを固定します。



- 4** ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



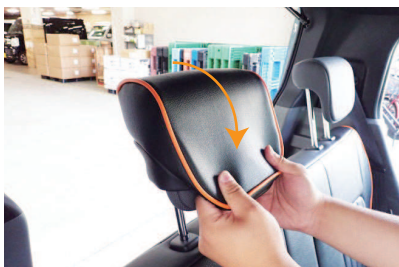
- 5** ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6** カバーのラインを整えて、1 列目ヘッドレストの完成です。

Step 8

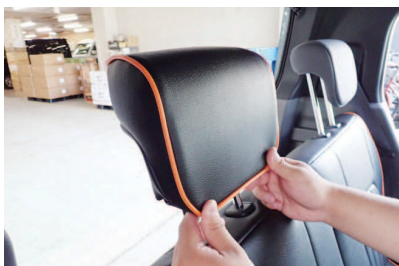
2列目ヘッドレストの装着方法



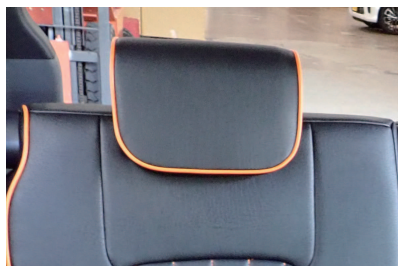
- 1** ヘッドレストの後ろ側から前に向かって、カバーをかぶせます。



- 4** 1列目と同様にブラックを固定します。ブラックの固定方法は18ページ5番を参考にしてください。



- 2** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 5** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



- 3** ヘッドレストを台座から取り外し、カバーの左右に付いているマジックテープを固定します。

Step 9

1 列目アームレストの装着方法

アームレスト装備車の場合のみご確認ください。



- 1** 始めにボックス部分を外します。フタを開けると中にネジが1本あります。ネジをドライバーを使用して外します。



- 4** 2番で外したボックスのフタにカバーをかぶせます。フタ裏の図の赤丸部分を固定している2本のネジをドライバーを使用して外します。



- 2** ボックス裏にツメが引っ掛かっているので図の矢印方向へスライドさせるようにしてボックスを外します。3番のツメの位置を意識して、作業を行ってください。



- 5** フタにカバーをかぶせます。赤丸で印を付けている生地のリボン部分に負荷がかかりすぎると、生地が裂ける恐れがありますのでご注意ください。



- 3** ボックスを外した図です。
※赤丸部分のツメが曲がりやすいため、慎重に作業を行ってください。



- 6** フタ全体にカバーをかぶせます。



7 4番で外したネジ穴の位置を、指で押さえるなどして、生地の上から確認します。



10 4番で外した部分を元に戻します。



8 ネジ穴の位置に印を付け、付けた印部分に切り込みを入れます。



11 アームレスト本体にカバーをかぶせます。アームレストの後ろ側からカバーをかぶせます。



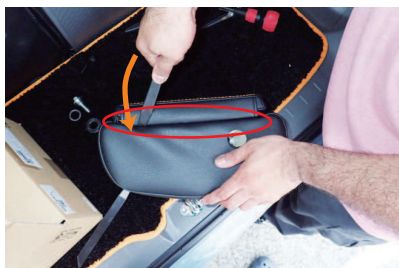
9 切り込んだ部分からネジ穴を図のように取り出します。



12 アームレスト全体にカバーをかぶせます。外したボックス部分の生地を中央に寄せます。



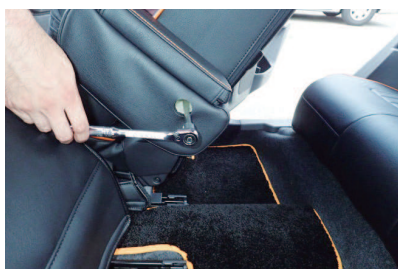
- 13** 12番で寄せてきた生地を挟み込み、ボックスを本体に戻します。この際、ボックスのフタ部分の側面に付いている固定部材も一緒に挟み込みます。ボックス裏のツメがしっかり掛かるように意識して、元に戻してください。



- 14** 本体とボックス部分の隙間に、ボックスのフタに付けたカバーの端を、ヘラなどを使用して入れ込みます。赤丸部分で囲んだ生地の子部分が全て見えなくなるまでしっかりと入れ込んでください。



- 15** 1番で外したネジを元に戻します。
※ネジが届かない場合は、13番の作業でツメがしっかり固定出来てない可能性があります。その状態で無理やりネジを締めると、ボックス裏のツメが破損する恐れがあります。ネジが届かない場合は、無理をせず、13番の作業をやり直してください。



- 16** 外した時と逆の手順でアームレストを戻します。



- 17** アームレストのキャップを戻して、アームレストの完成です。
※アームレストのキャップはカバーの上から元に戻します。

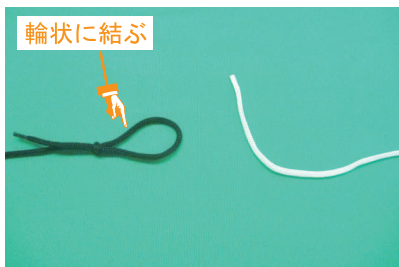


1 列目

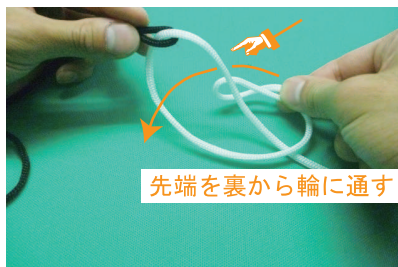


2 列目

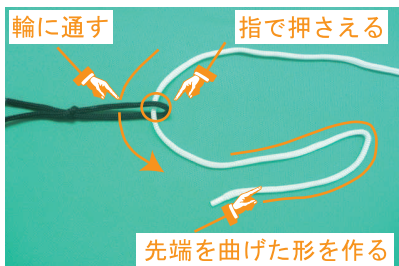
…> ひもの結び方



- 1** ひもの結び方です。
片方のひもを図のように輪状に結びます。
※図はわかりやすいように、色の違うひもを使用しています。



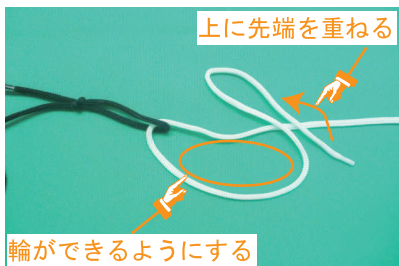
- 4** 輪に、重ねた先端を裏から通します。



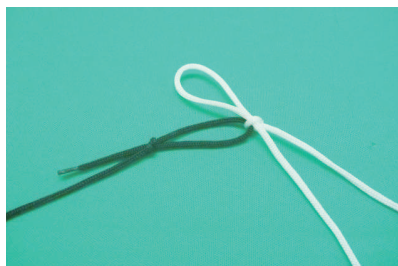
- 2** 輪に、もう片方のひもを通し引っ張ります。
ひもが締まっている状態のまま、輪にひもが通っている箇所を指で押さえます。この後の工程は押さえながら行って下さい。
また、通したひもの先端を図のような形にします。



- 5** 通した後、カバーから出ている方のひもを引っ張ります。
逆のひもを引っ張ると、ひもが抜けてしまうため注意して下さい。



- 3** 曲げた先端を通してきたひもの上に重ねます。重ねると図のような輪状の形になります。



- 6** 引っ張ると図のような形になり完成です。

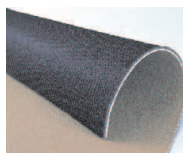


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などに付けてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができて変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816